

学校の教育目標	<p>「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」</p> <p>(1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。</p> <p>(2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。</p> <p>(3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。</p> <p>(4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。</p> <p>(5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。</p>
---------	--

教科の目標	<p>○日常で使用する国語的な基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。(知識及び技能)</p> <p>○国語的な思考力・判断力を養い、文章作成や読解に役立てることができる。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>○自主的・意欲的に、情報を調べ、取捨選択し、活用する能力や態度が身につく。(学びに向かう力、人間性等)</p>
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
現代の国語	2	1年次普通科	現国710/現代の国語(数研)

科目の目標	<p>・「読む」だけでなく「話す」「聞く」「書く」ことができるようにする。</p> <p>・多読することで論理的思考力と表現力を養成する。</p> <p>・多くの語彙に触れ、文章の構成を分析し、大学受験につながる学力を身につける。</p>
-------	---

時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月	対比を読み取る	C読む こと	6	<p>① 知識・技能 段落同士の役割・対比を知る。言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕</p> <p>② 思考・判断・表現 段落同士の対比、関連について考える。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 国際社会の多様性を対比構成で読み解く。文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ 考査</p> <p>・ 発表</p>	<p>・ 論理的文章の読解方法(対比)を提示し、実践する。</p>	<p>・ 文章を対比の構造で読解する。〔〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア〕</p>	<p>評論の読み方</p> <p>水の東西</p>
5月	根拠を読み取る	C読む こと	6	<p>① 知識・技能 段落冒頭の接続語の役割を知る。文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕</p> <p>② 思考・判断・表現 段落冒頭の接続語、指示語について考える。段落同士の対比、関連について考える。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 交換による経済学的価値の創造という基本原則を理解し、人生で本当に大きな利益を得るということを考える。自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ 考査</p> <p>・ 発表</p>	<p>・ 論理的文章の読解方法(接続語・指示語)を提示し、実践する。</p>	<p>・ 文章を接続後の知識を使って読解する。〔〔思考力、判断力、表現力等〕C(2)ア〕</p>	<p>「わらしべ長者」の経済学 ポスト・ブライバシー</p> <p>・ 公民</p>
6月	書き手の意図をつかむ	C読む こと	8	<p>① 知識・技能 抽象的な筆者の見解と、それに対応する具体例を見分ける。言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕</p> <p>② 思考・判断・表現 言葉がものを存在させるということを考える。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ことばの本質について考え、それに取り組む。筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ 考査</p> <p>・ 発表</p>	<p>・ 論理的文章の読解方法(抽象・具体)を提示し、実践する。</p>	<p>・ 文章を論理の展開を踏まえて読解する。〔〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア〕</p>	<p>ものづくり</p>
7月	社会の中の文章	B書く こと	6	<p>① 知識・技能 実用文にふれることで、内容の分析を行う。</p> <p>② 思考・判断・表現 実用文の表現の特徴について考える。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 実用文から読み取れることをまとめる。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ 考査</p> <p>・ 発表</p>	<p>・ 論理的文章の読解方法(実用文)を提示し、実践する。</p>	<p>・ 実用の文章を読解し、内容周知のパンフレットを作成する。〔〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ〕</p>	<p>目的に合わせて表現を工夫する資料を分析して考えをまとめる課題を発見し解決策を発表するコミュニケーションの手段を考える文章の構成を工夫して提案する</p>
9月	書き手の考えを比較する	C読む こと	6	<p>① 知識・技能 指示語の対象となる箇所を読み取る。主張と論拠について理解している。〔(2)ア〕</p> <p>② 思考・判断・表現 文章中の表現について考える。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 筆者のいう、人が科学と非科学とに分かれる遠因について考える。筆者の表現を積極的に読み解いて、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ 考査</p> <p>・ 発表</p>	<p>・ 論理的文章の読解方法(指示語・分析)を提示し、実践する。</p>	<p>・ 指示語の対象を見つけて文章を読解する。〔〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア〕</p>	<p>科学と非科学</p> <p>・ 理科</p>

10月	文章の展開を把握する	C読むこと	8	① 知識・技能 言い換え表現を理解し、それを発見できる。 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。〔(3)ア〕	・ 考査	・ 論理的文章の読解方法(言い換え)を提示し、実践する。	・ 言い換え表現は重要事項を言い換えていることを踏まえて文章を読解する。(〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア)	時間とは何か
				② 思考・判断・表現 論理の展開の中で、筆者の主張を捉える。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、などについて叙述を基に的確に捉えたいうえで要旨や要点を把握し、自分の考えを深めている。〔C(1)ア〕	・ 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 自分にとって時間はどのようなものか考える。 同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。	・ 発表			
11月	言葉の働きをとらえる	C読むこと	8	① 知識・技能 「外来語」について調べる。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。〔(1)エ〕	・ 考査	・ 論理的文章の読解方法(問題提起)を提示し、実践する。	・ 筆者の主張を捉えることを主眼に置き、文章を読解する。(〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア)	語幹トレーニング
				② 思考・判断・表現 文章中の問題提起部分について考える。また、抽象的な筆書の見解とそれに対応する具体例を把握する。 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、それを踏	・ 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 筆者が論じる問題を積極的に自分に引きつけて考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	・ 発表			
12月	文章の展開を把握する	C読むこと	6	① 知識・技能 言い換え表現を理解し、それを発見できる。 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。〔(3)ア〕	・ 考査	・ 論理的文章の読解方法(言い換え)を提示し、実践する。	・ 文章を読解し、意見をまとめる。(〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ)	地球を旅する水の話 ・ 理科
				② 思考・判断・表現 論理の展開の中で、筆者の主張を捉える。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、などについて叙述を基に的確に捉えたいうえで要旨や要点を把握し、自分の考えを深めている。〔C(1)ア〕	・ 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 自分にとって水はどのようなものか考える。 同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。	・ 発表			
1月	対比を読み取る	C読むこと	6	① 知識・技能 主張と論拠など里山と自然との関係について理解している。〔(2)ア〕	・ 考査	・ 既習の論理的文章の読解方法に基づき、自力で筆者の主張を捉え、それに対する自分の意見をまとめる。	・ 文章を読解し、意見をまとめる。(〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ)	里山物語
				② 思考・判断・表現 「そんなふうにも思ってみると、里山というのは意味深いものである」とあるが、ここから考えられる筆者の考えを判断する。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕	・ 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 筆者の主張を的確に理解したうえで積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って条件に即した形で論述しようとしている。	・ 発表			
2月	コミュニケーションと言葉	C読むこと	6	① 知識・技能 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。〔(1)カ〕	・ 考査	・ 既習の論理的文章の読解方法に基づき、自力で筆者の主張を捉え、それに対する自分の意見をまとめる。	・ 修辞法を理解し、文章を読解し、意見をまとめる。(〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ)	世間話はなぜずるか
				② 思考・判断・表現 本文で述べられている世間話の効用について、自らの意見を考えられている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。〔B(1)エ〕	・ 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 世間話や挨拶における「話し手の『伝達意図』」についてまとめようとしている。	・ 発表			
3月	日常の中の文章	C読むこと	4	① 知識・技能 実用文にふれることで、内容の分析を行う。	・ 考査	・ 論理的文章の読解方法(実用文)を提示し、実践する。	・ 文章を読解し、意見をまとめる。(〔思考力、判断力、表現力等〕B(2)ウ)	目的に合わせて表現を工夫する資料を分析して考えをまとめる課題を発見し解決策を発表するコミュニケーションの手段を考える文章の構成を工夫して提案する
				② 思考・判断・表現 実用文の表現の特徴について考える。	・ 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 実用文から読み取れることをまとめる。	・ 発表			
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		20					
	書くこと		30					
	読むこと		20					
指導時間数の合計			70					

学校の教育目標	<p>「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」</p> <p>(1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実施する。</p> <p>(2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸ばさせる。</p> <p>(3)自励心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。</p> <p>(4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。</p> <p>(5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。</p>
---------	--

教科の目標	<p>○日常で使用する国語的な基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。(知識及び技能)</p> <p>○国語的な思考力・判断力を養い、文章作成や読解に役立てることができる。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>○自主的・意欲的に、情報を調べ、取捨選択し、活用する能力や態度が身につく。(学びに向かう力、人間性等)</p>
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
言語文化	2	1年次普通科	言文709/言語文化(数研)

科目の目標	<p>・「読む」だけでなく「話す」「聞く」「書く」ことができるようにする。</p> <p>・「言語文化」の継承と発展につながる学力を身につける。</p> <p>・古典文法や漢文の句法等、大学受験につながる学力を身につける。</p>
-------	---

時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月	【古文】古文に親しもう 【漢文】日本語の中に生きる漢文	B読む こと	6	<p>① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2ウ〕 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔2ア〕</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。</p>	・考査 ・レポート(提出物) ・発表	古典文法の基礎、漢文の基礎を学ぶ。	歴史的仮名遣いと現代仮名遣いについて学習する。(B(1)ア)	【古文】いろは歌 【漢文】訓読のきまり
5月	【漢文】日本語の中に生きる漢文 【小説】受け継がれる古典	B読む こと	6	<p>① 知識・技能 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔2ア〕 文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。〔1エ〕</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。〔B(1)エ〕 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。 積極的に改稿前と後の文章の印象の違いを捉え、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>	・考査 ・レポート(提出物) ・発表	漢文の基礎を学ぶ。小説読解の基礎を学ぶ。	訓読について学ぶ。小説を音読する。(B(1)ア)	【漢文】格言 【小説】羅生門
6月	【古文】古文の世界を楽しむ 【漢文】故事と成語	B読む こと	8	<p>① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2ウ〕 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔2ア〕</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。〔B(1)エ〕 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 人々が説話を伝えた理由を粘り強く分析し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。</p>	・考査 ・レポート(提出物) ・発表	基礎的な文法事項を復習し、しっかり身につける。	音読することで、歴史的仮名遣いをしっかり身につける。(B(1)ウ)	【古文】児のそら寝 【漢文】漁夫之利
7月	【詩歌】詩歌を味わう 【古文】和歌が作り出す世界	B読む こと	6	<p>① 知識・技能 我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔1ウ〕 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2ウ〕</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味いを吟味して、表現したいことを明確にしている。〔A(1)ア〕</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕</p>	・考査 ・レポート(提出物) ・発表	和歌(短歌)は何を表現するものかを考える。	韻文について学ぶ。(B(2)エ)	【詩歌】短歌 【古文】和歌 古今和歌集

9月	【漢文】故事と成語 【小説】ことばを吟味する	B読むこと	6	① 知識・技能 句法(否定・疑問)について学習する。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。【2ア】 文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。【1エ】 ② 思考・判断・表現 「助長」の意味について考える。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。【B(1)イ】 ③ 主体的に学習に取り組む態度 「助長」は、なぜ「孟子」という古典で学ぶかを考え、発表する。進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	・ 考査 ・ レポート(提出物) ・ 発表	句法について学習する。	故事成語はどういったものかを学ぶ。(B(2)ウ)	【漢文】助長 【小説】舟を編む
10月	【古文】現代に生きる教え 【漢文】故事と成語	B読むこと	8	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【2ウ】 随筆・史伝とはどういったものかを学ぶ。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。【2エ】 ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)ア】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。【B(1)エ】 ③ 主体的に学習に取り組む態度 句読点の違いによる解釈の差異について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。友情について考え、発表する。進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	・ 考査 ・ レポート(提出物) ・ 発表	基礎的な文法事項を復習し、しっかり身につける。	音読することで、歴史的仮名遣いをしっかり身につける。(B(1)ウ)	【古文】 【古文】徒然草 ある人、引射ることを習ふに 【漢文】管輅之交
11月	【小説】地域のことば 【古文】現代に生きる教え	B読むこと	8	① 知識・技能 小説の風景描写が意味するものを学ぶ。文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。【1エ】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【2ウ】 ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。【B(1)イ】 徒然草の「道を学」ぶ心、小説の「生き物の寂しさ」を考え。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。【B(1)ウ】 ③ 主体的に学習に取り組む態度 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。自分の考えをまとめ、積極的に漢文調の表現について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	・ 考査 ・ レポート(提出物) ・ 発表	小説の心情はどのように表現されるのかについて考える。	作者が工夫したと思われる表現を探る。(B(1)エ)	【小説】とんかつ徒然草 高名の木登り
12月	【漢文】漢詩を味わう 【小説】記録する文学 【詩歌】詩歌を味わう	B読むこと	6	① 知識・技能 漢詩の基礎知識、沖繩歌、俳句の基礎を学ぶ。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。【2ア】 文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。【1エ】 ② 思考・判断・表現 漢詩の知識をもとに、その詩の主題について考える。「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。【B(1)エ】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 詩の主題を考察し、まとめて発表する。由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。率先して周囲と協調しながら根拠立てて話し合いに取り組んでいる。	・ 考査 ・ レポート(提出物) ・ 発表	漢詩において、作者の心情はどのように表現されるのかについて考える。	対句等の漢詩の表現について考える。(B(2)オ)	【漢文】漢詩 【小説】沖繩の手記から 【詩歌】俳句
1月	【古文】昔と変わらない人の心 【漢文】論語のことば	B読むこと	6	① 知識・技能 歌物語、歌の技巧、論語とはどういったものかを学ぶ。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【2ウ】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。【2ア】 ② 思考・判断・表現 歌物語と、歌を含む物語の違いについて考える。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。【B(1)エ】 ③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。教材本文の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	・ 考査 ・ レポート(提出物) ・ 発表	歌物語・中国の思想について学ぶ。	文章の中での、和歌の働きを考える。(B(2)エ)	【古文】伊勢物語 簡井簡 【漢文】論語
2月	【小説】文体の魅力 【古文】戦下の人間像	B読むこと	6	① 知識・技能 文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。【1エ】 軍記物語について学ぶ。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【2ウ】 ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。【B(1)ウ】 ③ 主体的に学習に取り組む態度 朗読ができた。これまでの学習を生かして考えようとしている。積極的に本文の表現について分析し、学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。	・ 考査 ・ レポート(提出物) ・ 発表	『山月記』で主人公が虎になった理由を考える。	『山月記』の表現上の特色及び、その効果を考える。(B(1)オ)	【小説】山月記 【古文】平家物語

3月	【漢文】日本の漢詩 【古文】先人を思う旅	日読むこと	4	<p>① 知識・技能 日本漢詩文、江戸文学について学ぶ。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。【2ア】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【2ウ】</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。【B(1)エ】 俳諧、俳文とはどういったものか考える。 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 漢詩の暗唱ができた。日本漢詩文を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。 改作前後の句について粘り強く比較し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ レポート(提出物)</p> <p>・ 発表</p>	江戸時代の俳諧について考える。典故を踏まえて俳文を読む。	漢詩を音読する。(B(1)エ)	【漢文】日本の詩 【古文】おくのほそ道
----	-------------------------	-------	---	---	--	------------------------------	-----------------	------------------------

領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと	5
	書くこと	45
	読むこと	20
指導時間数の合計		70

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」
---------	---------------------------------------

教科の目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
歴史総合	2	全日制・普通科・第2学年	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える(山川出版社)

科目の目標	<p>○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力、人間性等)</p>
-------	--

時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	歴史の扉① 「歴史と私たち」	2	<p>① 知識・技能 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p> <p>レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p>	<p>○諸資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。</p>	<p>・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出</p>	
4月	歴史の扉② 「歴史の特質と資料」	2	<p>① 知識・技能 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p>	<p>○日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。</p>	<p>・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出</p>	
4～5月	第I部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界と日本の開国	12	<p>① 知識・技能 ・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、工業化と世界市場の形成を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p> <p>レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p>	<p>①18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ②産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。</p>	<p>・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出</p>	

6～7月	第2章 国民国家と明治維新	<p>12</p> <p>① 知識・技能 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>定期テスト（論述問題など） レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p> <p>レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p>	<p>①国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ②帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。</p>	<p>・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出</p>	
7月	第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第3章 総力戦と社会運動	<p>13</p> <p>① 知識・技能 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>定期テスト（論述問題など） レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p> <p>レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p>	<p>①第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ②第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。</p>	<p>・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出</p>	
9～10月	第4章 経済危機と第二次世界大戦	<p>13</p> <p>① 知識・技能 ・世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解している。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦のはじまりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>定期テスト（論述問題など） レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p> <p>レポート課題 討論・発表 学習の振り返り</p>	<p>①経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺を理解する。 ②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</p>	<p>・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出</p>	

11月～12月	第Ⅲ部 グローバル化と私たち 第5章 冷戦と世界経済	12 ① 知識・技能 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際政治の変容を理解している。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	定期テスト 定期テスト（論述問題など） レポート課題 討論・発表 学習の振り返り レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	①地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。 ②冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
1～2月	第6章 世界秩序の変容と日本	12 ① 知識・技能 ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、市場経済の変容と課題を理解している。 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	定期テスト 定期テスト（論述問題など） レポート課題 討論・発表 学習の振り返り レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	①アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。 ②冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
3月	現代的な諸課題の形成と展望	8 ① 知識・技能 ・歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題について理解し、説明している。 ② 思考・判断・表現 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・「歴史総合」で学んだすべての内容における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学びに向けての課題を見いだそうとしている。	定期テスト 定期テスト（論述問題など） レポート課題 討論・発表 学習の振り返り レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	・科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会に向けて、現代的な諸課題の展望を探究する。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
指導時間数の計		70				

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 (1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 (2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 (3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 (4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 (5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
数学 I	3	全日制・普通科・1学年	新編 数学 I (数研出版)

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
-------	--

時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	第1章 数と式 1. 多項式の加法と減法 2. 多項式の乗法	7	① 知識・技能 ・単項式や多項式、同類項、次数など式に関する用語を理解している。 ・多項式について、同類項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの順に整理したりすることができる。 ・多項式の加法、減法の計算ができる。 ・指数法則を理解し、多項式の乗法の計算ができる。 ・展開の公式を利用できる。 ・式の形の特徴に着目して変形し、展開の公式が適用できるようにすることができる。 ② 思考・判断・表現 ・式の展開は分配法則を用いると必ずできることを理解している。 ・式を1つの文字におき換えることによって、式の計算を簡略化することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、考察しようとする。 ・多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心を持ち、考察しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
4月～ 5月	3. 因数分解	6	① 知識・技能 ・因数分解の公式を利用できる。 ・因数分解を行うのに、文字のおき換えを利用することができる。 ② 思考・判断・表現 ・複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解をすることができる。 ・式の形の特徴に着目して変形し、因数分解の公式が適用できるようにすることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとする。 ・展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
5月	4. 実数	2	① 知識・技能 ・分数を循環小数で表すことができる。 ・有理数が整数、有限小数、循環小数のいずれかで表される理由を理解している。 ・有理数、無理数、実数の定義を理解し、それぞれの範囲での四則計算の可能性について理解している。 ・絶対値の意味と記号表示を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。 ・実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また、実数の大小関係と数直線を関係づけて考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動	
5月	5. 根号を含む式の計算	3	① 知識・技能 ・平方根の意味、性質を理解している。 ・根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 ② 思考・判断・表現 ・根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・根号を含む式の計算公式を証明しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	

6月	6. 不等式の性質 7. 1次不等式	8	<p>① 知識・技能 ・不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 ・不等式の性質を理解している。 ・不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・不等式を解くことができる。 ・身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む ・不等式の性質について、等式における性質と比較して、考察しようとする。 ・不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	
6月～ 7月	8. 絶対値を含む方程式・不等式	2	<p>① 知識・技能 ・絶対値の意味から、絶対値を含む方程式、不等式を解くことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号をはずす処理ができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・絶対値記号を含むやや複雑な方程式や不等式を解くことに取り組む意欲がある。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	
6月～ 7月	第2章 集合と命題 1. 集合	3	<p>① 知識・技能 ・集合とその表し方を理解している。また、2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができる。 ・空集合、共通部分、和集合、補集合について理解している。 ・ド・モルガンの法則を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・条件を満たすものを集合の要素としてとらえることができる。 ・ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。 ・3つの集合についても、和集合、共通部分について考察しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	
7月	2. 命題と条件	3	<p>① 知識・技能 ・命題の真偽、反例の意味を理解し、集合の包含関係や反例を調べることで、命題の真偽を決定することができる。 ・必要条件、十分条件、必要十分条件、同値の定義を理解している。 ・条件の否定、ド・モルガンの法則を理解し、複雑な条件の否定が求められる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 ・命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解できている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・命題と条件の違いや、命題と集合との関係について、積極的に理解しようとする。 ・条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度がある。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	
7月	3. 命題とその逆・対偶・裏	2	<p>① 知識・技能 ・命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解し、それらの真偽を調べることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・命題について真偽を調べる上で、逆・裏・対偶を用いることの有用性を理解できている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・命題とその対偶の真偽の関係について考察しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	<p>・国語科 「かつ」、「または」などの表現について</p>
7月	4. 命題と証明	2	<p>① 知識・技能 ・対偶による証明法や背理法のしくみを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・命題の条件や結論に着目し、命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断することで、命題を証明することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち、実際に証明しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表 レポート</p>	

9月	1. 関数とグラフ	2	<p>① 知識・技能 ・$y=f(x)$の表記を理解し、用いることができる。 ・与えられた条件から1次関数を決定することができる。 ・定義域に制限がある1次関数のグラフがかけ、値域が求められる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・2つの変量の関係を関数式で表現できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・日常生活に見られる関数の具体例を見つけて考察しようとする。 ・座標平面上の点と象限について、理解を深めようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	
9月	2. 2次関数のグラフ	10	<p>① 知識・技能 ・2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 ・平方完成をすることができる。 ・放物線の平行移動や対称移動の一般公式を活用して、移動後の放物線の方程式を求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 ・放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 ・一般形で表された2次関数について、頂点、軸の式を考察しようとする。 ・放物線の平行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表 プレゼンテーション</p>	<p>・理科（物理） 放物線について</p>
10月	3. 2次関数の最大・最小	6	<p>① 知識・技能 ・2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 ・2次関数を標準形に式変形して、最大値、最小値を求めることができる。 ・2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 ・具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。 ・定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	
10月	4. 2次関数の決定	3	<p>① 知識・技能 ・2次関数の決定において、与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 ・連立3元1次方程式の解き方を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	
10月～ 11月	5. 2次方程式	4	<p>① 知識・技能 ・2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。 ・2次方程式において、判別式の符号と実数解の個数の関係を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。 ・1次の係数が$2b$である2次方程式の解の公式を積極的に利用しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	
11月	6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係	6	<p>① 知識・技能 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の座標が求められる。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の個数を求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、判別式の符号から考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>	

11月～ 12月	7. 2次不等式	8	① 知識・技能 ・2次不等式を解くことができる。 ・2次不等式を利用する応用問題を解くことができる。 ・2次の連立不等式を解くことができる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表 プレゼンテーション	・商業科 価格設定と利益について
			② 思考・判断・表現 ・2次関数の値の符号と2次不等式の解を相互に関連させて考察することができる。 ・2次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連させて考察することができる。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・1次関数と1次不等式の関係から、2次不等式の場合を考えようとする。 ・2次不等式を解くときに、図を積極的に利用する。 ・身近な問題を2次不等式で解決しようとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
12月	第4章 図形と計量 1. 三角比	4	① 知識・技能 ・直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 ・三角比の定義から、辺の長さを求める関係式を考察することができる。 ・直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・三角比の表から $\sin\theta$ 、 $\cos\theta$ 、 $\tan\theta$ の値を読み取ることができる。 ・具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
12月～ 1月	2. 三角比の相互関係	5	① 知識・技能 ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 ・ $\sin(90^\circ - \theta) = \cos\theta$ などの公式が利用できる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・三角比の相互関係を調べようとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
1月	3. 三角比の拡張	4	① 知識・技能 ・直角三角形の斜辺の長さを適当に変えて、三角比を考察することができる。 ・ $\sin(180^\circ - \theta) = \sin\theta$ などの公式が利用できる。 ・ $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、三角比の値から θ を求めることができる。また、1つの三角比の値からの残りの値を求めることができる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・既知である鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・これまでに学習している数や図形の性質に関する拡張と対比し、三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする。 ・三角比が与えられたときの θ を求める際に、図を積極的に利用しようとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
1月～ 2月	4. 正弦定理	3	① 知識・技能 ・正弦定理における $A=B=C=D$ の形の関係式を適切に処理できる。 ・正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・三角形の辺と角、外接円の半径の間に成り立つ関係式として、正弦定理を導くことができる。 ・正弦定理を測量に応用できる。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・正弦定理の図形的意味を考察する。また、三角形の外接円、円周角と中心角の関係などから、正弦定理を導こうとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
2月	5. 余弦定理	3	① 知識・技能 ・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・三角形の辺と角の間に成り立つ関係式として、余弦定理を導くことができる。 ・余弦定理を測量に応用できる。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・余弦定理の図形的意味を考察する。また、三平方の定理をもとに余弦定理を導こうとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			

2月	6. 正弦定理と余弦定理の応用	3	<p>① 知識・技能 ・余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・正弦定理から、三角形の角の大きさについて考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・三角形の解法について興味を示し、$\sin 75^\circ$なども求めようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表 レポート</p>
2月	7. 三角形の面積	2	<p>① 知識・技能 ・三角比を用いた三角形の面積を求める公式を理解している。 ・3辺が与えられた三角形の面積を求めることができる。 ・3辺が与えられた三角形の内接円の半径を求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。 ・三角形の面積を、決定条件である2辺とその間の角または3辺から求めることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>
2月	8. 空間図形への応用	3	<p>① 知識・技能 ・三角比を測量に応用できる。 ・正弦定理、余弦定理を空間図形の計量に応用できる。 ・三角比を利用して、正四面体などの体積を求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・空間図形への応用において、適当な三角形に着目して考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 測量 プレゼンテーション レポート</p>
3月	第5章 データの分析 1. データの整理 2. データの代表値	3	<p>① 知識・技能 ・度数分布表、ヒストグラムについて理解している。 ・平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切でないことを理解している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 ・身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>
3月	3. データの散らばりと四分位	4	<p>① 知識・技能 ・範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。また、データの散らばりを比較することができる。 ・箱ひげ図をかき、データの分布を比較することができる。 ・ヒストグラムと箱ひげ図の関係について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 ・データの中に他の値から極端にかけ離れた外れ値が含まれる場合について、外れ値の背景を探ることの利点を考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>
3月	4. 分散と標準偏差	3	<p>① 知識・技能 ・偏差の定義とその意味を理解している。 ・分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、それらに関する公式を用いて、分散、標準偏差を求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・変数の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するかを考察することができる。それらの性質を活用して平均値や分散を見通しよく計算することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・変数の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとする。</p>	<p>小テスト 定期テスト</p> <p>定期テスト ノート</p> <p>ノート 観察 発表 学習の振り返り</p>	<p>・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表</p>	<p>グループ活動 発表</p>

3月	5. 2つの変数間の関係	3	① 知識・技能 ・相関係数の定義とその意味を理解し、定義にしたがって求めることができる。 ・相関係数は散布図の特徴を数値化したものであること、数値化して扱うことのよさを理解している。 ・分割表の意味を理解し、問題解決に活用することができる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表 レポート
			② 思考・判断・表現 ・散布図を作成し、2つの変数間の相関を考察することができる。 ・データの相関について、散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確にとらえて説明することができる。 ・複数のデータを、散らばりや変数間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析し、問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。	定期テスト ノート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・相関の強弱を数値化する方法を考察しようとする。 ・相関関係と因果関係の違いについて考察しようとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り		
3月	6. 仮説検定の考え方	3	① 知識・技能 ・仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることができる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表 プレゼンテーション
			② 思考・判断・表現 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、実験などを通して、問題の結論について判断したり、その妥当性について批判的に考察したりすることができる。	定期テスト ノート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	ノート 観察 発表 学習の振り返り		
指導時間数の計		105				

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 (1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 (2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 (3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 (4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 (5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういい環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○何を理解しているか、何ができるか(知識及び技能) ○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等) ○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
化学基礎	2	全日制・普通科・1学年	新編 化学基礎(数研出版)

科目の目標	・化学的な事物・現象について、日常生活と関連付けながら知識を習得するとともに、論理的に表現する力を養う。 ・観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、化学的な事物・現象に主体的に関わろうとする。 ・観察・実験から得られた結果を、化学的に考察する力を養うとともに、さらに探求しようとする知的な好奇心を育てる。
-------	---

時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成	8	① 知識・技能 ・物質の構成による分類や、成分の検出方法について理解する。 ・物質の熱運動について理解する。 ② 思考・判断・表現 ・物質に含まれる成分の検出に最適な手法を考え、説明できる。 ・絶対温度を、日常生活とも馴染みの深いセルシウス温度に変換できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りの物質が何からできているのか、その成分について学んだことをもとに、知ろうとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 発表	身近な物質で、成分を知りたいと思うものを出し合い、全員で共有し考える。	数学
5月	第1編 物質の構成と化学結合 第2章 物質の構成粒子	8	① 知識・技能 ・原子の構造と周期表との関係を理解する。 ・イオンの成り立ちについて理解する。 ② 思考・判断・表現 ・原子の構造を説明できる。 ・原子がイオンになる過程を説明できる。また、その原子が陽イオン・陰イオンのどちらになるのかを判断できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・物質の源である原子やイオンの構造に興味関心を持ち、観察しようとする。 ・身の回りの物質がどんな原子・イオンから構成されているか興味・関心を持ち、知ろうとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク ・ 観察活動	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 観察活動 ・ 発表	身近な物質で、どんな原子・イオンから構成されているのか知りたいものを出し合い、全員で共有し考える。また、原子の模型を使って、原子の構造を説明しよう。	数学
6月 ～7月	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 粒子の結合	16	① 知識・技能 ・身の回りの物質は、粒子がイオン結合・共有結合・金属結合によって結びついて構成されていることを理解する。 ② 思考・判断・表現 ・イオン結合・共有結合・金属結合の仕組みについて説明できる。 ・その物質を構成する粒子が、どのような結合を構成しているのか判断できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りの物質を構成する粒子が、どのような結合で結びついているのか知ろうとする。 ・物質には、構成する粒子の結合の仕方によって異なる特徴があり、その様子を観察しようとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク ・ 観察活動	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 観察活動 ・ 発表	身の回りの物質を構成する粒子が、どのように結合しているのかを考え、全員で共有する。	数学
9月 ～10月	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式	16	① 知識・技能 ・化学で用いられる物理量のひとつである物質量の考え方を理解する。 ・溶液の濃度の化学的な表し方を理解する。 ・化学反応式の書き方を習得する。 ② 思考・判断・表現 ・物質の量を、物質質量を用いて表せる。 ・溶液中の物質の濃度を化学的に表せる。 ・化学反応を、化学反応式を用いて表せる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・自ら調製した溶液の濃度を、化学的手法を用いて求めようとする。 ・身近な化学反応を、化学反応式で表そうとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク ・ 実験	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 実験 ・ 発表	物質を水に溶かして調製した溶液の濃度を、求め周囲の生徒と共有する。	数学
11月 ～12月	第2編 物質の変化 第2章 酸と塩基の反応	16	① 知識・技能 ・酸・塩基と中和の関係を理解する。 ・pHについて、日常生活での例と関連付けて理解する。 ・中和滴定の操作と仕組みを理解する。 ② 思考・判断・表現 ・水溶液のpHを計算から決定できる。 ・中和滴定の実験から、濃度未知の溶液の濃度を決定できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りの溶液のpHを知ろうとする。 ・実験操作に主体的に関わろうとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク ・ 実験	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 実験 ・ 発表	pHを知りたい溶液を出し合い全員で共有し、pHを求めてみる。実験操作をグループで確認しながら、協力して行う。	数学

1月 ～3月	第2編 物質の変化 第3章 酸化還元反応	22	<p>① 知識・技能 ・酸化と還元の仕事、身近な例に関連付けて理解する。 ・酸化還元反応の工業的応用について知る。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・身近な酸化還元反応について、どのような酸化反応・還元反応が生じているのか、化学反応式も含めて考え、意見を共有することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な酸化還元反応に興味関心を持ち、その反応の仕組みについて、グループでの話し合いに主体的に参加しようとする。</p>	<p>・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集</p> <p>・ 考査 ・ 授業ノート</p> <p>・ 授業ノート ・ グループワーク</p>	<p>・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 実験 ・ 発表</p>	身近な酸化還元反応について、どのような酸化反応と還元反応が生じているのか、グループで考え話し合う。	数学
指導時間数の計		70					

令和4年度 保健体育科【体育】 年間指導計画

学校No. 42

第1学年 学科(普通科) 3単位

県立神栖高等学校[全日制]

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実施する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸ばさせる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
----------------	--

保健体育科の目標 【学習指導要領】	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
-----------------------------	--

科目「体育」の目標 【学習指導要領】	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間のこと他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
------------------------------	---

目指す生徒像	・運動やスポーツの意義を理解し、多様な楽しみ方(「する」「みる」「支える」「知る」)を実践することができる生徒 ・生涯にわたり運動に主体的に取り組むことのできる生徒
---------------	---

教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	現代高等保健体育ノート(大修館書店)
------------	-----------------	------------	--------------------

月・週	内容のまとめ(領域・種目等)	指導時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等との関連
4月第2週～5月第1週	体づくり運動	10	【知識・運動】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」) ○知識 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ○運動 健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習カード 観察 学習カード 観察 学習カード	・個別の運動実践 ・課題の整理(個別) ・運動計画の作成(グループワーク) ・計画の発表 ・計画の実践	・意義・原則等を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えやグループの考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・体育理論(豊かなスポーツライフの設計の仕方) ・保健(精神疾患の予防と回復) ・家庭基礎(生涯の生活設計)
5月第2週～6月第1週	球技(ネット型) ・卓球 ・バドミントン ・バレー	13	【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」) ○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 ○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	テスト 観察 観察 学習ノート 観察 学習ノート	・個人練習 ・課題の整理(ペアワーク) ・練習計画の作成(ペアワーク) ・計画の発表 ・計画の実践 ・知識テスト ・リーグ戦運営	・技術を解釈し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えやチームの考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
6月第2週～7月第2週	球技(ゴール型) ・バスケットボール ・サッカー	13	【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」) ○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 ○技能(体づくり運動は「運動」) 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	テスト 観察 観察 学習カード 観察 学習カード	・個人練習 ・グループ練習 ・課題の整理(グループワーク) ・練習計画の作成(ペアワーク) ・計画の発表 ・計画の実践 ・知識テスト ・リーグ戦運営	・技術を解釈し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えやチームの考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
7月第3週	体育理論(スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展)	3	【知識】(現行:「知識・理解」) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組んでいる。	ワークシート テスト ワークシート 観察 ワークシート 観察	・講義 ・ワークシート作業(課題の整理)(発表) ・小テスト	・事実を正確に理解し伝達する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・保健(医薬品)
9月第1週～10月第1週	ダンス ・フォークダンス	13	【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」) ○知識 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解している。 ○技能(体づくり運動は「運動」) 日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることが 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	テスト 観察 観察 学習カード 観察 学習カード	・ペアワーク ・グループワーク ・発表	・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・体育理論(豊かなスポーツライフの設計の仕方)

10月第2週 ～ 11月第1週	陸上競技	12	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」、「運動の技能」) ○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 ○技能(体づくり運動は「運動」) 自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>観察 学習カード</p> <p>観察 学習カード</p> <p>観察 学習カード</p>	<p>・グループワーク ・練習計画の作成</p>	<p>・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。</p>	<p>・体育理論(豊かなスポーツライフの設計の仕方)</p>
11月第2週 ～ 12月第3週	球技 (ネット型) ・卓球 ・バドミントン ・バレー	20	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」、「運動の技能」) ○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 ○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>テスト 観察</p> <p>観察 学習ノート</p> <p>観察 学習ノート</p>	<p>・個人練習 ・課題の整理(ペアワーク) ・練習計画の作成(ペアワーク) ・計画の発表 ・計画の実践 ・知識テスト ・リーグ戦運営</p>	<p>・技術を解釈し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えやチームの考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。</p>	<p>・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)</p>
1月第2週	体育理論 (スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展)	3	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組んでいる。</p>	<p>ワークシート テスト</p> <p>ワークシート 観察</p> <p>ワークシート 観察</p>	<p>・講義 ・ワークシート作業(課題の整理)(発表) ・小テスト</p>	<p>・事実を正確に理解し伝達する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。</p>	<p>・保健(医薬品)</p>
1月第3週 ～ 3月第3週	球技 (ゴール型) ・バスケットボール ・サッカー	18	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」、「運動の技能」) ○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 ○技能(体づくり運動は「運動」) 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>テスト 観察</p> <p>観察 学習カード</p> <p>観察 学習カード</p>	<p>・個人練習 ・グループ練習 ・課題の整理(グループワーク) ・練習計画の作成(ペアワーク) ・計画の発表 ・計画の実践 ・知識テスト ・リーグ戦運営</p>	<p>・技術を解釈し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えやチームの考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。</p>	<p>・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)</p>

※適宜、行を追加すること。 ※「体づくり運動」は【知識・運動】としてください。

令和4年度 保健体育科【保健】 年間指導計画

学校No. 42

第1学年 学科(普通科) 1単位

県立神栖高等学校[全日制]

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合いじめのない環境をつくる。
----------------	---

保健体育科の目標 【学習指導要領】	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 個人の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
-----------------------------	--

科目「保健」の目標 【学習指導要領】	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
------------------------------	--

目指す生徒像	・自己の健康を管理・改善することができる生徒 ・危険回避や危険予測をし、自他の安全を確保できる生徒
---------------	--

教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	現代高等保健体育ノート(大修館書店)
------------	-----------------	------------	--------------------

月・週	内容(単元)	指導時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等との関連
4月第2週～4月第4週	(1) 現代社会と健康 01健康の考え方と成り立ち 02私たちの健康のすがた	3	【知識】(現行:「知識・理解」) 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 健康の考え方に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 健康の考え方についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・情報を分析・評価し、議論する。 ・自分の考えやグループの考えを発展させる。	
5月第2週～6月第2週	(1) 現代社会と健康 03生活習慣病の予防と回復 04がんの原因と予防 05がんの治療と回復	5	【知識】(現行:「知識・理解」) 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生活習慣病などの予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 生活習慣病などの予防と回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	家庭基礎 「食品と健康」
6月第3週～7月第2週	(1) 現代社会と健康 06運動と健康 07食事と健康 08休養・睡眠と健康	4	【知識】(現行:「知識・理解」) がん、脳血管疾患、虚血性心疾患などを適宜取り上げ、リスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・情報を分析・評価し、議論する。 ・自分の考えやグループの考えを発展させる。	
7月第3週～9月第3週	(1) 現代社会と健康 09喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康	4	【知識】(現行:「知識・理解」) 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 保健体育ノート	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・情報を分析・評価し、議論する。 ・自分の考えやグループの考えを発展させる。	

9月 第4週 ～ 10月 第3週	(1) 現代社会と健康	4	【知識】(現行:「知識・理解」) 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。
	12精神疾患の特徴		【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 精神疾患の予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	観察 保健体育 ノート		
	13精神疾患の予防		【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 精神疾患の予防と回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 保健体育 ノート		
10月 第4週 ～ 11月 第3週	(1) 現代社会と健康	4	【知識】(現行:「知識・理解」) 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。
	15現代の感染症		【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 現代の感染症とその予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	観察 保健体育 ノート		
	16感染症の予防		【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 現代の感染症とその予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 保健体育 ノート		
11月 第4週 ～ 12月 第2週	(1) 現代社会と健康	3	【知識】(現行:「知識・理解」) 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・情報を分析・評価し、議論する。 ・自分の考えやグループの考えを発展させる。
	18健康に関する意思決定・行動選択		【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 健康の考え方に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	観察 保健体育 ノート		
	19健康に関する環境づくり		【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 健康の考え方についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 保健体育 ノート		
1月 第3週 ～ 2月 第2週	(2) 安全な社会生活	4	【知識】(現行:「知識・理解」) 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。
	01事故の現状と発生要因		【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 安全な社会づくりに関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。	観察 保健体育 ノート		
	02安全な社会の形成		【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 安全な社会づくりについての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 保健体育 ノート		
2月 第3週 ～ 3月 第3週	(2) 安全な社会生活	4	【知識・技能】(現行:「知識・理解」) 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク ・実習	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。
	04応急手当の意義とその基本		【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し、傷害の悪化等を防止する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。	観察 保健体育 ノート		
	05日常的な応急手当		【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 応急手当についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 保健体育 ノート		
06心肺蘇生法						特活 「クラスマッチ」

※適宜、行を追加すること。 ※「応急手当」は【知識・技能】としてください。

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 (1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 (2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 (3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 (4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 (5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。(知識及び技能) ○創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等) ○生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性)
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
音楽 I	2	全日制課程・普通科・1学年	MOUSA1(教育芸術社)

科目の目標	○曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(知識及び技能) ○自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等) ○主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)
-------	---

時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月～5 月2週 目	○歌唱・日本の歌を歌おう	8	① 知識・技能 ・曲想と音楽の構造や歌詞について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。 ② 思考・判断・表現 旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 歌詞と旋律の関わりについて考え、表現意図を持って歌うことに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト ワークシート 発言 観察 発言	・言葉の抑揚と旋律がどのように関わり合っているかを理解する。 ・詩の情景や心情を踏まえながら表現意図を持って独唱する。 ・音楽を形づくっている要素を知覚しながら歌唱に取り組む。	・音楽を形づくっている要素とその働きについて意見を共有する。	
5月～6 月	○器楽・ギターでポップスを弾こう	8	① 知識・技能 ・楽器の音色や奏法について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身につけ、器楽で表している。 ② 思考・判断・表現 音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ギターの音色や奏法を理解して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト ワークシート 発言 観察 発言	・ギターの正しい奏法を身につけて演奏する。 ・TAB譜およびダイアグラムの読み方を理解して、活動に取り組む。	・ペアになり、ギターの奏法や楽譜の読み方について互いに教授しあう。	
6月～7 月	○歌唱/鑑賞・オペラに親しもう	7	① 知識・技能 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 ② 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 楽曲について楽器や声の特徴を感じ取るとともに、文化的・歴史的背景を理解することに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 ワークシート 発言 観察 発言	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じて鑑賞する。 ・楽器の音色や声の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取って鑑賞する。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞する。	・楽曲について音楽を形づくっている要素とその働きについて、知覚感受したことを共有する。 ・楽曲のイメージについて話し合う。	地歴における世界の歴史の展開に関して理解することとの関連
9月	○器楽・三線に挑戦しよう	10	① 知識・技能 ・楽器の音色や奏法について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身につけ、器楽で表している。 ② 思考・判断・表現 音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 三線の音色や奏法を理解して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト ワークシート 発言 観察 発言	・三線の正しい奏法を身につけ、演奏する。 ・楽器の音色や奏法の特徴を感じながら活動に取り組む。	・ペアになり、三線の奏法や楽譜の読み方について教授しあう。	
10月	○歌唱・世界の歌曲に親しもう	7	① 知識・技能 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。 ② 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 外国語の発音に親しみ、言語の特徴や曲想にあった歌い方を身につけることに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト ワークシート 発言 観察 発言	・イタリア語、ドイツ語の発音に親しみ、言語の特徴や曲想にあった発声の仕方を身につける。 ・シューベルトとヴェルナーの「野ばら」の音楽を知覚、感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わって、それぞれの曲にふさわしい音楽表現を工夫する。	・音楽を形づくっている要素とその働きについて意見を共有する。 ・外国語における異文化への興味・関心を高めることとの関連	地歴における他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚との関連
11月	○器楽・ハンドベルで演奏しよう	8	① 知識・技能 ・様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能及び表現形態の特長を生かして演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 ② 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 音楽を形づくっている要素を知覚し、他者と協働して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表 ワークシート 発言 観察 発言	・楽曲の曲想や音楽を形づくっている要素を知覚し、他者と協働してハンドベルを演奏する。	・グループで演奏を反省、改善していく。	

12月	○鑑賞・楽器の特徴を捉えて鑑賞しよう	7	<p>① 知識・技能 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 音楽の構造や表現上の様々な効果を知覚感受して聴くことに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	ワークシート 発表	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じて鑑賞する。 ・楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わり感じ取って鑑賞する。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞する。	・音楽を形づくっている要素とその働きについて意見を共有する。 ・楽曲の特徴と文化的・歴史的背景について調べ、グループでまとめる。	
1月～2月	○創作・オノマトペで創作しよう	8	<p>① 知識・技能 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽を作る技能を身に付け、創作で表している。</p> <p>② 思考・判断・表現 リズム、速度、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽を作るかについて表現意図を持っている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 音素材の特徴を生かして、工夫して音楽をつくることに関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>	ワークシート 作品発表	・音素材の特徴を生かして、構成を工夫して音楽をつくる。 ・音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して音楽をつくる。	・できあがった作品を共有し、批評し合う。	
2月～3月	○歌唱/鑑賞・日本の音楽を学ぼう	7	<p>① 知識・技能 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、自分や社会にとっての音楽の価値や意味、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の民謡や伝統音楽について、音楽の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	ワークシート 演奏発表	・日本の民謡および芸能について学び、音楽の特徴や歴史的・文化的背景について理解する。 ・民謡や伝統芸能を比較し、音楽の共通性や固有性について考える。	・楽曲を比較し、共通性や固有性について考え、意見を共有する。	・歴史における我が国の国土や歴史に対する愛情の自覚との関連
指導時間数の計		70					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 (1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 (2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 (3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 (4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 (5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かさに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
	2	全日制・普通科・第1学年	書道 I (光村図書)

科目の目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
-------	---

時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	書写から書道へ	8	① 知識・技能 書道の分野や学習方法など、書道で学習することを理解している。 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度 書道で学習することや古典の臨書に関心を持ち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。	ワークシート 観察	① 書道の三分野を確認し、臨書・鑑賞・創作の学習を通して、自己の創造的な表現に生かすことを理解する。 ② 臨書の方法、拓本に関する基礎的な知識を身に付ける。 ③ 楷書の基本的な点画の筆使いと、その組み立て方を確認し、「風花」を書く。	グループ交流	
5～7月	漢字の書 唐の四大家に学ぶ、楷書の基本 A孔子廟堂碑 B九成宮醴泉銘 C雁塔聖教序 D顔氏家廟碑	10	① 知識・技能 各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。 ② 思考・判断・表現 漢字の書体の変遷を、文字を書く目的や用具・用材等の歴史的背景と合わせて理解している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心を持ち、理解しようとしている。	作品 ワークシート ワークシート	A～Dの四つのグループの文字を比較し、自分が好きなものを選ぶ。 ・その文字を選んだ理由や受ける印象を自由に発表する。 ・臨書する文字を観察し、向勢の構え、点画の長さ、文字の重心など、書写で学習した楷書とは異なる部分を中心に確認する。 ・用筆や字形を意識して臨書する。	グループ交流	
9～10月	硬筆の学習 行書の基本を押さえよう「蘭亭序」 表現を広げよう「風信帖」	16	① 知識・技能 臨書を通して「蘭亭序」の線質や点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・生活の中の書に求められる技法を学び、あらゆる生活場面で活用している。 ・書聖・王羲之と「蘭亭序」の書史的価値や、諸本の発生の経緯を理解したうえで「蘭亭序」の書風を的確に捉え、その美を感じている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・「書道 I」で学習した内容を、生活に生かそうとしている。 ・行書の成立過程や、字形や用筆の特徴について、主体的に確認している。 ・「蘭亭序」に関心を持ち、その美を味わおうとしている。	作品 ワークシート 作品・ワークシート	・鉛筆・ボールペン・つけペン・サインペンなど様々な筆記具を用いて書写する。 ・行書を楷書と比較し、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。 ・臨書する文字を観察し、筆脈と抑揚、それに伴う点画の丸み、連続や省略、筆順の変化を確認する。 ・筆脈と抑揚を意識して臨書する。		

11~12月	篆書・篆刻の学習	16	① 知識・技能 臨書を通して、篆書の点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。	作品	<ul style="list-style-type: none"> 篆書の成立過程や小篆の公式書体としての性質を再確認する。 印の使い方や種類を理解する。 篆刻に必要な用具とその使い方を理解する。 篆書の基本的な用筆について学ぶ。 篆刻の用具・用材について理解させ、篆刻の仕方について学ぶ。 	作品の交流
			② 思考・判断・表現 篆書の特徴を的確に捉え、その美を感受している。	作品		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 篆書の成立過程や、点画や用筆の特徴について、主体的に確認している。	ワークシート		
1~2月	仮名の成立と種類 文字の造形を学ぶ「蓬萊切」	10	① 知識・技能 ・古筆に基づく、基本的な線の表し方を理解し、その用筆・運筆の技法を理解している。 ・「蓬萊切」をもとに、用筆や仮名遣いの特徴など、古筆を鑑賞・臨書していくための基礎となる知識を理解している。	ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> 今日の仮名が成立するまでに段階的に発生した仮名の種類と、それぞれの性質を理解する。 「蓬萊切」の鑑賞・臨書を通して、字形や線質の特徴を捉え、用筆・運筆の技法を習得する。 	
			② 思考・判断・表現 ・仮名の線質の特徴を捉え、それを表現するための用筆・運筆を理解している。 ・「蓬萊切」の書風を的確に捉え、その美を感受している。	作品		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・仮名の基本的な用筆・運筆に関心をもっている。 ・「蓬萊切」に関心をもち、その美を味わおうとしている。	作品 ワークシート		
3月	創作	10	① 知識・技能 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	作品	<ul style="list-style-type: none"> 創作の手順に従い、これまで学んだ技法を生かし創作する。 	作品の交流
			② 思考・判断・表現 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	作品		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	作品 観察		

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 (1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 (2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 (3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 (4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 (5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○英語表現の理解を深め、場面に応じた英語を使用することができる(知識及び技能) ○文法や語いの知識を深め、様々な英語表現を使いこなすことができる(思考力、判断力、表現力等) ○異文化への興味・関心を高め、コミュニケーションの基礎を養う(学びに向かう力、人間性等)
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
英語コミュニケーション I	4	全日制・普通科・1学年	Amity English Communication I (開隆堂)

CAN-DOリストに基づく年度末の学習到達目標	聞くこと(L) :ペアやグループにおいて、相手の意見にしっかり耳を傾けることができる。 読むこと(R) :すでに習った単語で書かれた短い英文の内容を理解することができる。 話すこと[やりとり](SI) :すでに習った表現を用いて、複数回の英語でのやりとりのある会話をすることができる。 話すこと[発表](SP) :身近な話題について、準備をした上で簡単なスピーチをすることができる。 書くこと(W) :与えられた動詞に注目し、説明を加えながら身近な内容について書くことができる。
-------------------------	---

時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 2週目	GET READY	4	・数字、文字、品詞を理解する。 ・質問する、共感する/学校での学習や活動、地域での活動			
4月 2週～4 週目	The Beautiful Scenery	8	・be 動詞、一般動詞の現在形を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、相づちを打つ。	お気に入りの場所についてやり取りをしたり、まとめたものを発表する。	be動詞・一般動詞の現在形を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。	
5月 1週～ 2週目	My Best Friend	8	・be 動詞、一般動詞の過去形を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、感謝する。	日常生活についてやり取りをしたり、大切にしている人についてまとめて発表したりする。	be動詞、一般動詞の過去形を用いて、日常生活について考えや気持ちを話して伝えている。	
5月3週 ～4週 目	Love for Dance	10	・進行形/助動詞を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、共感する、描写する/学校での学習や活動	コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする。	進行形や助動詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。	
6月 1週 ～2週 目	Focus+1	8	・be動詞、一般動詞、進行形、助動詞を復習する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、描写する、聞き直す。	好きなスポーツ選手や好きな有名人についてやり取りをしたり、自己紹介などをする。		
6月 3週 ～4週 目	Endangered Species	10	・不定詞を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、相づちをうつ、描写する。	不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えている。	不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えている。	
7月 1週 ～3週 目	The History of Chocolate	12	・動名詞を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、共感する、推論する、仮定する。	健康や空いた時間についてやり取りしたり、写真を参考にして、自分の考えをまとめて発表したりする。	動名詞を用いて、健康に関することや空いた時間について考えや気持ちを伝えようとしている。	
9月1 週～2 週目	Our School	8	・比較(原級、比較級、最上級)を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、提案する、共感する。	好きな教科について描かれたイラストについてやり取りしたり、学科やクラブについてまとめて発表したりする。	比較を用いて、学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えている。	
9月3 週目	Focus+2	6	・不定詞、動名詞、比較を復習する。 ・質問する、理由を述べる、説明する。	好きな音楽や日常生活で楽しんでいることについてやり取りをする。		
9月4 週目	COMMUNICATE+1	6	・質問する、説明する、提案する、承諾する、望む、依頼する、助言する、話題を進展させる、買い物	買い物の場面で客と店員とのやり取りをする。	買い物の場面で考えや気持ちを話して伝えようとしている。	
10月1 週目～ 3週目	Serendipity	12	・現在完了形を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、報告する	相手の生活面や経験などについてやり取りをしたり、セレンディピティについてまとめたり、発表したりする。	現在完了を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。	
10月4 週目～ 11月2 週目	Sapeurs	12	・受動態を理解する。 ・質問する、理由を述べる、感謝する、褒める、説明する。	服装や平和のシンボルについてやり取りをしたり、大切なものについてまとめて発表したりする。	受動態を用いて、だれかからもらった大切なものについて考えや気持ちを話して伝えている。	
11月3 週目～ 12月3 週目	Special Makeup Effects	12	・分詞の形容詞的用法を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、共感する、賛成する。	好きな俳優や映画についてやり取りしたり、それらをまとめて発表したりする。	分詞の形容詞的用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。	
1月2 週～4 週目	Clean Water	12	・関係代名詞を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、共感する、話題を進展させる、驚く	好きな飲み物や平和に寄与した有名人、将来の夢などについて、やり取りしたり、水分の摂り方についてまとめて発表したりする。	関係代名詞を用いて、好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えている。	
2月1 週目～ 3週目	FOCUS+3	12	・現在完了、受動態、分詞、関係代名詞、仮定法を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、描写する。	メールの内容やお気に入りの写真についてまとめて発表したり、「どこでもドアがもしあったら」というテーマでやり取りしたりする。		
指導時間数の計		140				

学校の教育目標	「ひとりひとりが意欲を持ち、輝きに満ちた学校」、「社会に貢献できる有為な人材の育成」 (1) 自立貢献を理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する学校 (2) 確かな学力と人間力の育成を図り、生徒ひとりひとりの進路希望を実現することにより地域から信頼され、選ばれる学校 (3) 自励心・向上心・共感性を育てることを通して、自尊心(自己肯定感)の醸成に努め、次世代を担う心豊かな人間を形成する学校 (4) 特別活動の活性化と時代・社会のニーズに即した特色ある学校づくりを推進し、生徒ひとりひとりの個性と自立心の伸長を図る (5) 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員 相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる
---------	---

教科の目標	○家族や家庭生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付けることができる ○生活の充実向上を図る力と実践的な態度を身に付けることができる ○家庭や地域の生活上の課題を見つけ解決する能力を育成する
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
家庭基礎	3	全日制・普通科・1年	家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)

科目の目標	家族や家庭生活に関する基礎・基本的知識と技術の向上を図り、実生活・実社会で課題を見つけ解決する能力を育成する。
-------	---

時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週 日	家庭科の学び方 学校家庭クラブ ホームプロジェクトについて 自分らしい人生をつくる	5	① 知識・技能 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 ② 思考・判断・表現 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見出して課題設定し、解決策を構想し、実践し課題を解決する力を身に付ける。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組む、改善し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート	1時間目： オリエンテーション DVD視聴 2時間目： 人生設計、ライフプランを立てる 3時間目： 自分を知る 4時間目： 自立度を知る 5時間目： 人生90年代を生きる	・ライフプランを立て客観的に見直す。 ・各年代に想定されるライフイベントをワークシートに記入する。	
4月 3週 日	生涯の生活設計	2	① 知識・技能 人の一生について、自己と他者、社会との関りから様々な生き方があることを知り自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めて ② 思考・判断・表現 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見出して、解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の地域の生活の充実を図るための実践しようとしている。	将来設計プランシート 学習ノート	1時間目： 他者を尊敬する 2時間目： 結婚の意義 3時間目： 様々な人生を知る 4時間目： 人生設計をする	・自分に興味のある仕事や興味のあることについて学習ノートに書き出す。 ・自身の結婚観についてグループで話し意見交換する。	・育児、介護休業制度、男性の育児休暇取得率について ・日本国民の義務、雇用の仕組み(現代社会)
5月 週 日	青年期の自立と家族	5	① 知識・技能 生涯発達の視点で青年期の課題を理解し、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭としゃかいとの関わりについて理解を深めている。 ② 思考・判断・表現 家族や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意志決定に基づき、責任を持って行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見だして課題を解決する力や解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 青年期の自立と家庭・家族について、課題解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート	1時間目：家族とは何か 2時間目：家庭の機能について 3時間目：結婚に関する法律 4時間目：男女で担う家庭生活 5時間目：現代の働き方が抱える問題 6時間目：DVD視聴	自分に不足している部分を把握する。 働くとはどういうことか考える。 自立とは何かについて考え、自分が今の段階にいるのか考える。	・憲法改正・雇用形態(消費生活) ・子どもの発達 ・高齢期の生活 ・家族に関する法律(現代社会)
5月 ～ 6月	衣生活をつくる	15	① 知識・技能 ライフスタイルや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集、整理ができる。 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の管理に必要な技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 被服の機能や快適性について問題を見だし課題を解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 衣生活について課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート	1時間目：被服の役割を考える 2時間目：被服の素材と性能 3時間目：被服の手入れ 4時間目：資源の再利用化 5時間目：被服製作の基礎 6時間目～15時間目 被服製作実習	今後の衣生活について、消費者として購入から3Rまで考える。	界面活性剤の構造(化学) 年齢に応じた衣服(子ども・高齢者) 環境汚染・再利用(共生)

7月～8月 週日	ホームプロジェクト実施	<p>① 知識・技能 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実践方法について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践、評価、改善、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	学習ノート ホームプロジェクト (各家庭で実施)	HPを行い家族と家庭生活について話し合う。		
7月～9月 週日	生活における経済の計画	<p>① 知識・技能 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	学習ノート	<p>1,2時間目： マネープランゲーム 人生とお金の在り方について</p> <p>3時間目： 人生におけるリスク 社会保障の仕組みを知る。</p> <p>4時間目： お金の視点から人生を考え生涯の人生設計につなげる。</p> <p>5時間目： 人生設計</p>	マネープランゲームをグループで行い人生のお金の動きを話し合う。ゲームを通して人生のお金の動きやリスク、想定外の事態に応じた適切な選択について話し合う。	社会保障（現代社会）
9月 週日	消費行動と意思決定	<p>① 知識・技能 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意志決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。</p> <p>② 思考・判断・表現 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意志決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。</p>	学習ノート DVD視聴	<p>1時間目： 消費者の権利と責任について</p> <p>2時間目から 新聞等から適切な情報を取捨選択する。</p> <p>3時間目： 身近な消費者問題から、トラブル及び予防法、解決策を考える。</p> <p>4時間目： ロールプレイング</p> <p>5時間目： DVD鑑賞（感想）</p>	新聞・テレビなどと同じような体験をすることがある。か。どのように解決したかグループで話し合い発表する。	生涯の生活設計 食品 住居 (家庭) 税金とその利用 経済の仕組み (現代社会)
10月～11月 週日	食生活をつくる	<p>① 知識・技能 ライフステージに応じた栄養の特徴や健康や環境に配慮した食生活について理解している。食品の調理上の性質、食品衛生について理解している。目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の伝承を学び健康や環境の配慮した食生活について問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	学習ノート DVD視聴 調理実習授業観察 調理実習授業観察	<p>1時間目：食生活の課題</p> <p>2～6時間時間目：栄養</p> <p>7時間目：食生活の安全と衛生</p> <p>8時間目：生涯の健康を見通した食事計画</p> <p>9時間目：調理の基本</p> <p>10時間目：DVD視聴</p> <p>11時間目：食事のマナー</p> <p>12時間目：日本の伝統的な食文化</p> <p>13～24時間目：調理実習 被服製作（エプロン）</p>	昨日の食事を思い出して学習ノートに記入し、改善点を考える。一人ひとりの適切な量の栄養素をノートに記入する。班ごとコミュニケーションをとりながらレシピを確認し実習を行う。	遺伝子組み換え (保健・現代社会) 消化の仕組み (生物) アミノ酸・脂肪酸 (化学) 食品ロス (経済・共生) 年齢に応じた食事計画 (子ども・高齢者)
12月～1月 週日	子供と共に育つ	<p>① 知識・技能 乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解している。乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	学習ノート 折り紙・絵本製作 DVD視聴 保育人形実習 妊婦体験	<p>1時間目： 赤ちゃんクイズ</p> <p>2時間目： 子どもの育つ力を知る</p> <p>3～4時間目： 親として共に育つ</p> <p>5～6時間目： 子どもとのふれあいから学ぶ</p> <p>7～8時間目： これからの保育環境</p> <p>9～26時間： お手玉・絵本・折り紙製作 (妊婦体験実習)</p> <p>27～28時間： DVD視聴</p>	子育ての責任を地域社会の関りの視点から考える。子育ての問題について話し合う。子供が喜ぶ顔を想像させながら実習を行う。妊婦体験を行い普段の生活とは異なる点を話し合う。作品に対して、クラス全員が一感想を記入する。	社会福祉 (現代社会・ 青年期の自立と家族)

2月 週日	高齢社会を生きる	① 知識・技能 高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。	学習ノート			
		② 思考・判断・表現 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について、問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。	高齢者体験	1時間目： 高齢期を理解する 2時間目： 高齢者の心身の特徴 3時間目： これからの高齢社会 4時間目： 高齢者・妊婦体験	身近な高齢者について発表し高齢者の心身の特徴や認知症について話し合う。	人権の尊重 (現代社会)
		③ 主体的に学習に取り組む態度 高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている。				
2月 週日	共に生き共に支える	① 知識・技能 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。	学習ノート			
		② 思考・判断・表現 家族や地域及び社会の一員として自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。		1時間目： 私たちの生活と福祉 2時間目： 社会保険の考え方 3時間目： 共に生きる	地域社会に住む一員として、少しでも良くなるためには何ができるのか話し合う。	
		③ 主体的に学習に取り組む態度 共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
2月 ～ 3月 週日	住生活をつくる	① 知識・技能 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。	学習ノート			
		② 思考・判断・表現 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。		1時間目： 住生活について考える 2時間目： 住生活の計画と選択 3時間目： 間取り図の読み方 4時間目： これからの住生活	ひとり暮らしに必要なことを話し合う。間取り図を読み取り、自分の優先順位や生活状況、安全対策等を考えながら住みたい家をグループで話し合う。	住居の借用・売却 (現代社会)
		③ 主体的に学習に取り組む態度 住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
3月 週日	これからの消費生活と環境	① 知識・技能 生活と環境の関わりや持続可能な消費について理解している。	学習ノート			
		② 思考・判断・表現 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。		1～3時間目： より良い地球環境に向けて 2時間目： 社会の扉	自らの行動が環境汚染につながることを理解し、環境にやさしい行動とは何か。実践できることを話し合う。	環境汚染 (保健・現代社会)
		③ 主体的に学習に取り組む態度 持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家族、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
3月 週日	生涯の生活設計	① 知識・技能 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを知り自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	学習ノート			
		② 思考・判断・表現 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見出し、解決する力を身に付けている。		4月に立てたライフプランを振り返り客観的に見直し、今後の生活にどう生かすか考える。 ふり返り	各自が学習ノートを確認し、ふり返る。ライフプラン・ライフイベント等を見直し変更があれば訂正する。	
		③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家族、地域の生活の充実向上を図るための実践しようとしている。				
指導時間数の計		105				

学校の教育目標	<p>「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」</p> <p>(1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。</p> <p>(2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。</p> <p>(3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。</p> <p>(4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。</p> <p>(5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。</p>
---------	--

教科の目標	<p>情報科は、他の教科等の学びとあわせて、このような変化する社会で子供達が生きていくための資質・能力を育むものでなければならない。情報科では、情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことを目指している。</p> <p>(1)情報通信技術に関する理解</p> <p>(2)通信機器を活用したネットワークの扱い方を理解し、正しい倫理観を持ちメディアリテラシーをつける。</p> <p>(3)情報を理解するだけでなく、自らの生活に活用できる態度を育成する。</p>
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
情報 I	2	全日制・普通科・1学年	高校情報 I Python(実教出版)

科目の目標	<p>○何を理解しているか、何が出来るか(知識及び技能)</p> <p>情報技術の理解。</p> <p>○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>情報通信機器を活用したネットワークの扱い方を客観的に理解し、正しい倫理観を持ち、情報を収集し発信できるメディアリテラシーをつける。</p> <p>○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>情報機器を円滑に活用し、情報正しく伝えられるように、データを収集・分析し、発信することのできる力を身につける。</p>
-------	---

時期 月 週日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週 日	01 情報と情報社会	1	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな意味をもつメディアの機能と特徴について理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なメディアを考える <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の定義について興味関心を示す。 ・自ら考えて、まとめる。 	<p>① ① 知識・技能 考査</p> <p>② ② 思考・判断・表現 提出物</p> <p>③ ③ 主体的に学習に取り組む態度 グループワーク提出物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なメディアについて調べてまとめる。 ・スマート社会について考える。 	グループ学習	商業
4月 3週 日	02 問題解決の考え方	1	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現・伝達について考える。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルの具体例をまとめる。 	<p>① ① 知識・技能 考査</p> <p>② ② 思考・判断・表現 提出物</p> <p>③ ③ 主体的に学習に取り組む態度 グループワーク提出物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルについて理解する。 	グループ学習	商業
4月 3週 日	03 法規による安全対策	1	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティについて考える。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報漏洩について、具体例をまとめる。 	<p>① ① 知識・技能 考査</p> <p>② ② 思考・判断・表現 提出物</p> <p>③ ③ 主体的に学習に取り組む態度 グループワーク提出物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ・暗号化について考える。 	グループ学習	商業 地歴・公民
4月 4週 日	04 個人情報とその扱い	1	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の適正な活用は新たな産業の創出につながることを理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な肖像権について考える。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らのプライバシーについて考えてまとめる。 	<p>① ① 知識・技能 考査</p> <p>② ② 思考・判断・表現 提出物</p> <p>③ ③ 主体的に学習に取り組む態度 グループワーク提出物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報について理解する。 ・プライバシー、肖像権について考える。 	グループ学習	商業
4月 4週 日	05 知的財産権の概要と産業財産権	1	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許の事例について興味・関心を持っている。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な知的財産権について調べる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な知的財産権について調べまとめる。 	<p>① ① 知識・技能 考査</p> <p>② ② 思考・判断・表現 提出物</p> <p>③ ③ 主体的に学習に取り組む態度 グループワーク提出物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権について理解する。 	グループ学習	商業 地歴・公民
5月 1週 日	06 著作権	2	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権法の権利制限規定の意義について考え、討議することができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な著作権について調べる。 ・日常生活で注意することを考える。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な著作権について調べまとめる。 	<p>① ① 知識・技能 考査</p> <p>② ② 思考・判断・表現 提出物</p> <p>③ ③ 主体的に学習に取り組む態度 グループワーク提出物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権について理解する。 	グループ学習	商業 地歴・公民

12月3週～1月3週日	35 整列のプログラム	3	① 知識・技能 ・比較回数と交換回数を正しく判断して計算することができる。 ② 思考・判断・表現 ・整列を理解し、実際に活用する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実際にプログラムを作成する。	① ② ③ 考査 提出物 提出物	プログラミング5		
1月3週～2月1週日	ADVANCE オブジェクト指向プログラミング	3	① 知識・技能 ・オブジェクト指向について理解する。 ② 思考・判断・表現 ・クラス、オブジェクト、メソッド、プロパティの意味を正しく説明することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実際にプログラムを作成する。	① ② ③ 考査 提出物 提出物	プログラミング6		
2月2週～3週日	ADVANCE プログラムの設計手法	3	① 知識・技能 ・状態遷移図や状態遷移表を正しく作成することができる。 ② 思考・判断・表現 ・クラス、オブジェクトの各図の意味を正しく説明することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実際にプログラムを作成する。	① ② ③ 考査 提出物 提出物	プログラミング7		
2月3週～4週日	ADVANCE オープンデータの活用	3	① 知識・技能 ・プログラムでファイルを扱う方法について理解し、説明することができる。 ② 思考・判断・表現 ・オープンデータを活用し、データを活用する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実際にプログラムを作成する。	① ② ③ 考査 提出物 提出物	プログラミング8		
3月1週日	ADVANCE プログラムによる動的シミュレーション	2	① 知識・技能 ・キャンパス上の図形を一定時間ごとに動かす方法について理解することができる。 ② 思考・判断・表現 ・モデル化を実践し、得られるデータを収集する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実際にプログラムを作成する。	① ② ③ 考査 提出物 提出物	プログラミング9		
3月2週日	ADVANCE 計測・制御とプログラミング	1	① 知識・技能 ・デジタル入力、デジタル出力、アナログ入力、アナログ出力を図に表現し、説明できる。 ② 思考・判断・表現 ・総合的にデータを処理し、プログラミングにいかす方法を思考する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実際にプログラムを作成する。	① ② ③ 考査 提出物 提出物	プログラミング10		
指導時間数の計		71					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 (1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 (2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 (3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 (4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 (5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○日常で使用する国語的な基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。(知識及び技能) ○国語的な思考力・判断力を養い、文章作成や読解に役立てることができる。(思考力、判断力、表現力等) ○自主的・意欲的に、情報を調べ、取捨選択し、活用する能力や態度が身につく。(学びに向かう力、人間性等)
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
実践国語基礎	2	全日制・普通科・1学年	
科目の目標	基礎的な問題を通して、小学校・中学校での既習内容の習得と技能の習熟を図り、それらを活用する能力を伸ばすとともに、国語的な見方や考え方の良さを認識する。		

時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月 2週目 ～ 5月 1週目	漢字の書き取り	Ｂ書く こと	8	① 知識・技能 ・読み方を元に漢字に直すことができる。 ② 思考・判断・表現 ・状況に応じた漢字を使用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・ 考査 ・ 考査 ・ 提出物	異口同音の語句や、ひらがなに対する漢字を漢字で書き取る。	グループ活動 発表	
5月 2週目 ～ 4週目	漢字の書き取り	Ｂ書く こと	6	① 知識・技能 ・語群から適切な感じを選び、熟語を完成させることができる。 ② 思考・判断・表現 ・状況に応じた漢字を使用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・ 考査 ・ 考査 ・ 提出物	○語群から適切な感じを選び、熟語を完成させる。	グループ活動 発表	
6月 1週目 ～ 7月 1週目	対義語と類義語	Ｂ書く こと	10	① 知識・技能 ・対義語と類義語、それぞれに対応する答えを選ぶことができる。 ② 思考・判断・表現 ・状況に応じた対義語・類義語を使用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・ 考査 ・ 考査 ・ 提出物	○状況に応じた対義語・類義語を選び、使用する。	グループ活動 発表	
7月 2週目 ～ 9月 3週目	音と訓	Ｂ書く こと	10	① 知識・技能 ・二字熟語について、それぞれの字を音読みと訓読みに分けることができる。 ② 思考・判断・表現 ・熟語の読みについて、音読みと訓読みの組み合わせを語群から選ぶことができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・ 考査 ・ 考査 ・ 提出物	○熟語の読みについて、音読みと訓読みの組み合わせを語群から選ぶ。	グループ活動 発表	
9月 4週目 ～ 10月 2週目	熟語の構成	Ｂ書く こと	6	① 知識・技能 ・熟語の構成を理解し、構成の5つのパターンから選ぶことができる。 ② 思考・判断・表現 ・熟語の種類によって、適切な構成を判断し、使用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・ 考査 ・ 考査 ・ 提出物	○二字熟語の関係について、適切な熟語の構成を選択しから選ぶ。	グループ活動 発表	
10月 3週目 ～ 4週目	部首	Ｂ書く こと	4	① 知識・技能 ・同じ種類の部首が使われている漢字をグループ分けすることができる。 ② 思考・判断・表現 ・漢字の一部が空欄になっている問題において、適切な部首を補うことができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・ 考査 ・ 考査 ・ 提出物	○同じ種類の部首が使われている漢字をグループ分けする。 ○漢字の一部が空欄になっている問題において、適切な部首を補う。	グループ活動 発表	
11月 1週目 ～ 3週目	漢字の書き順	Ｂ書く こと	6	① 知識・技能 ・漢字の適切な書き順を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・漢字の太字になっている画は何画目なのかを判断することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・ 考査 ・ 考査 ・ 提出物	○漢字の太字になっている画は何画目なのかを考える。	グループ活動 発表	
11月 4週目 ～ 12月 2週目	漢字の書き取り	Ｂ書く こと	6	① 知識・技能 ・語群から適切な感じを選び、熟語を完成させることができる。 ② 思考・判断・表現 ・状況に応じた漢字を使用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・ 考査 ・ 考査 ・ 提出物	○語群から適切な感じを選び、熟語を完成させる。	グループ活動 発表	

12月 3週目 ～ 3月 3週日	対義語と類義語	書く こと	14	① 知識・技能 ・対義語と類義語、それぞれに対応する答えを選べる。	・考査	○状況に応じた対義語・類義語を選び、使用する。	グループ活動 発表	/
				② 思考・判断・表現 ・状況に応じた対義語・類義語を使用することができる。	・考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・提出物			
領域 ごとの 指導 時間 数の 計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		70					
	読むこと		0					
指導時間数の合計			70					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 (1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 (2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 (3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 (4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 (5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○(何を学ぶか)数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 ○(どのように学ぶのか)具体的事象を数理的に考察し、表現する活動を行うことで、数学的な見方・考え方を働かせようとする態度を養う。 ○(何ができるようになるのか)事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力を養い、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できるようにする。
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
実践数学基礎	2	全日制・普通科・1学年	中1 数学、リクルート、リクルート

科目の目標	1 算数・数学の基礎的な知識を身につけ、計算を行い適切な答えを導くことができる。(知識及び技能) 2 必要な情報を読み取り数学的に処理し、簡潔・明瞭・的確に表現する。(思考力、判断力、表現力等) 3 算数・数学の知識や考え方を日常生活の場面に活用しようとする。(学びに向かう力、人間性等)
-------	--

時期 月 週日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週目 ～ 5月 1週目	四則演算	8	① 知識・技能 ・四則混合や()のある式の計算順序を理解し、計算することができる。	・ 考査	○四則混合や()のある式の計算順序や結合法則・分配法則の可否を理解し、計算する。	グループ活動 発表	物理・化学・情報
			② 思考・判断・表現 ・数や式の形に着目して、結合法則や分配法則が適用できるかを考え、計算方法を説明している。	・ 考査			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	・ 提出物			
5月 2週目 ～ 4週目	単位と量の計算 文章問題	6	① 知識・技能 ・長さ・重さ・体積・時間に関して単位の変換及び加法減法の計算ができる。 ・適切な立式をして、問題を解決することができる。	・ 考査	○長さ・重さ・体積・時間に関して単位の変換及び加法減法の計算する。文章問題においては、適切な立式をして、問題を解決する。	グループ活動 発表	物理・化学・情報
			② 思考・判断・表現 ・数の位取りの学習を基に、上位単位を考えようとしている。	・ 考査			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・どのような式で解決すればよいかを考えようとしている。	・ 提出物			
6月 1週目 ～ 7月 1週目	小数の四則演算	10	① 知識・技能 ・整数の計算方法や十進位取り記数法を用いて小数の加法、減法の計算をすることができる。 ・小数×小数の計算の仕方を、乗法の性質を活用して考え、答えを求めることができる。 ・小数÷小数の筆算の仕方を理解し、答えを求めることができる。	・ 考査	○整数の計算方法や十進位取り記数法を用いて小数の加法、減法の計算をする。小数×小数の乗法においては、計算の仕方を乗法の性質を活用して考え、答えを求める。また、小数÷小数の筆算の仕方を理解し、答えを求める。	グループ活動 発表	物理・化学・情報
			② 思考・判断・表現 ・小数の筆算の仕方について、既習の整数の場合を基にして考え、式を用いて説明している。	・ 考査			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・数学的表現を用いて、小数を多様な見方で表したりとらえたりしたことを振り返り、学習に生かそうとしている。 ・既習の除法の筆算の仕方を基にして考えた過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	・ 提出物			

7月 2週目 ～ 9月 3週目	分数の四則演算	10	<p>① 知識・技能 ・分数の性質や通分、約分の意味、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解するとともに、通分や約分、異分母の分数の加減計算ができる。 ・分数の乗法の意味や、分数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、分数の乗法の計算ができる。 ・分数の除法の意味や、分数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、分数の除法の計算ができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・単位分数に着目して、分数の相当及び大小関係や、異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。 ・乗数が分数の場合の乗法計算の仕方について、乗法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを用いて表現している。 ・除数が分数の場合の除法計算の仕方について、除法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを用いて表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・通分や約分の意味や、異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを今後の学習に活用しようとしたりしている。 ・乗数が分数の場合の乗法の意味をとらえ直したことや、その計算方法について乗法の性質や図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。 ・除数が分数の場合の除法の意味をとらえ直したことや、その計算方法について除法の性質や図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ 考査</p> <p>・ 提出物</p>	<p>○分数の性質や通分、約分の意味、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解するとともに、通分や約分、異分母の分数の加減計算を行う。分数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、分数の乗法及び除法の計算を行う。</p>	グループ活動発表	物理・化学・情報
9月 4週目 ～ 10月 2週目	数の種類 約数 倍数	6	<p>① 知識・技能 ・偶数、奇数、及び倍数、約数について知り、それらの意味について理解するとともに、偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めたりすることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・乗法及び除法に着目し、整数を偶数と奇数の2つの集合に類別してとらえたり、倍数と約数の集合をとらえたりするとともに、整数の性質を図や式を用いて考え表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・整数の性質について、観点を決めて類別したり、倍数と約数の集合をとらえたりした過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ 考査</p> <p>・ 提出物</p>	<p>○偶数、奇数、及び倍数、約数について知り、それらの意味について理解するとともに、偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めたりする。また、乗法及び除法に着目し、整数を偶数と奇数の2つの集合に類別してとらえたり、倍数と約数の集合をとらえたりするとともに、整数の性質を図や式を用いて考え表現する。</p>	グループ活動発表	物理・情報
10月 3週目 ～ 4週目	指数計算を含む四則演算	4	<p>① 知識・技能 ・累乗の意味を理解し、正負の数の累乗の計算ができる。 ・正負の数の四則の混じった式の計算順序を理解し、計算ができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・正負の数の四則の混じった式の計算順序を考え、説明することが出来る。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・正負の数の四則の混じった計算の計算方法を考えようとしている。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ 考査</p> <p>・ 提出物</p>	<p>○累乗の意味を理解し、正負の数の累乗の計算をする。また、正負の数の四則の混じった式の計算順序を理解し、計算する。</p>	グループ活動発表	物理・化学・情報
11月 1週目 ～ 3週目	比の値 割合	6	<p>① 知識・技能 ・比の意味や表し方、比の相等の意味を理解し、2つの数量の関係を調べて比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。 ・2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・2つの数量の関係を比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。</p>	<p>・ 考査</p> <p>・ 考査</p> <p>・ 提出物</p>	<p>○比の意味や表し方、比の相等の意味を理解し、2つの数量の関係を調べて比で表したり、等しい比をつくったりする。2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりする。また、2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考える。</p>	グループ活動発表	物理・化学

11月 4週目 ～ 12月 2週目	文字の値 文字式の計算 式の値	6	① 知識・技能 ・文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。 ・簡単な1次式の計算をすることができる。 ・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。	・ 考査	○文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求める。 簡単な1次式の計算や、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をする。	グループ活動発表	物理・化学
			② 思考・判断・表現 ・文字にいろいろな数をあてはめられることを基に、数量の関係を文字を用いた式で表すことの簡潔さや一般性について考えている。 ・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。	・ 考査			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・数量の関係を表す式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ 提出物			
12月 3週目 ～ 3月 3週目	1次方程式 連立方程式	14	① 知識・技能 ・等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 ・移項の考えを用いて方程式を解くことができる。 ・簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	・ 考査	○等式の性質、移項の考えを用いて簡単な1次方程式、比例式を解く。事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくる。また、加減法や代入法を用いて簡単な連立2元1次方程式を解く。	グループ活動発表	物理・化学・情報
			② 思考・判断・表現 ・等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。 ・具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。 ・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。	・ 考査			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ・正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。 ・方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ 提出物			
指導時間数の計		70					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」 (1)「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 (2)確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 (3)自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 (4)特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 (5)生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○英語表現の理解を深め、場面に応じた英語を使用することができる(知識及び技能) ○文法や語いの知識を深め、様々な英語表現を使いこなすことができる(思考力、判断力、表現力等) ○異文化への興味・関心を高め、コミュニケーションの基礎を養う(学びに向かう力、人間性等)
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
実践英語基礎	2	全日制・普通科・1学年	

CAN-DOリストに基づく年度末の学習到達目標	聞くこと(L) :ペアやグループにおいて、相手の意見にしっかり耳を傾けることができる。 読むこと(R) :すでに習った単語で書かれた短い英文の内容を理解することができる。 話すこと[やりとり](SI) :すでに習った表現を用いて、複数回の英語でのやりとりのある会話をするすることができる。 話すこと[発表](SP) :身近な話題について、準備をした上で簡単なスピーチをすることができる。 書くこと(W) :与えられた動詞に注目し、説明を加えながら身近な内容について書くことができる。
-------------------------	---

時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 2週目	基礎の定着学習	3	・数字、文字、品詞を理解する。 ・質問する、共感する/学校での学習や活動、地域での活動			
4月 2週目～4 週目	be動詞と一般動詞	4	・be 動詞、一般動詞の現在形を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、相づちを打つ。	お気に入りの場所についてやり取りをしたり、まとめたものを発表する。	be動詞・一般動詞の現在形を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。	
5月 1週目～ 2週目	過去形	4	・be 動詞、一般動詞の過去形を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、感謝する。	日常生活についてやり取りをしたり、大切にしている人についてまとめて発表したりする。	be動詞、一般動詞の過去形を用いて、日常生活について考えや気持ちを話して伝えている。	
5月3週 ～4週 目	助動詞、現在進行形	4	・進行形/助動詞を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、共感する、描写する/学校での学習や活動	コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする。	進行形や助動詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。	
6月 1週 ～2週 目	be動詞、一般動詞、助動詞、現在進行形の確認と復習	4	・be動詞、一般動詞、進行形、助動詞を復習する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、描写する、聞き直す。	好きなスポーツ選手や好きな有名人についてやり取りをしたり、自己紹介などをする。		
6月 3週 ～4週 目	不定詞	4	・不定詞を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、相づちをうつ、描写する。	不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えている。	不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えている。	
7月 1週 ～3週 目	動名詞	5	・動名詞を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、共感する、推論する、仮定する。	健康や空いた時間についてやり取りしたり、写真を参考にして、自分の考えをまとめて発表したりする。	動名詞を用いて、健康に関することや空いた時間について考えや気持ちを伝えようとしている。	
9月1 週～2 週目	比較	4	・比較(原級、比較級、最上級)を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、提案する、共感する。	好きな教科について描かれたイラストについてやり取りしたり、学科やクラブについてまとめて発表したりする。	比較を用いて、学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えている。	
9月3 週目	不定詞、動名詞、比較の確認と復習	4	・不定詞、動名詞、比較を復習する。 ・質問する、理由を述べる、説明する。	好きな音楽や日常生活で楽しんでいることについてやり取りをする。		
9月4 週目	疑問文など	4	・質問する、説明する、提案する、承諾する、望む、依頼する、助言する、話題を発展させる、買い物	買い物の場面で客と店員とのやり取りをする。	買い物の場面で考えや気持ちを話して伝えようとしている。	
10月1 週目～ 3週目	現在完了形	6	・現在完了形を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、報告する	相手の生活面や経験などについてやり取りをしたり、セレンディピティについてまとめたり、発表したりする。	現在完了を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。	
10月4 週目～ 11月2 週目	受動態	6	・受動態を理解する。 ・質問する、理由を述べる、感謝する、褒める、説明する。	服装や平和のシンボルについてやり取りをしたり、大切なものについてまとめて発表したりする。	受動態を用いて、だれかからもらった大切なものについて考えや気持ちを話して伝えている。	
11月3 週目～ 12月3 週目	分詞	6	・分詞の形容詞的用法を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、共感する、賛成する。	好きな俳優や映画についてやり取りしたり、それらをまとめて発表したりする。	分詞の形容詞的用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。	
1月2 週～4 週目	関係代名詞	6	・関係代名詞を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、共感する、話題を発展させる、驚く	好きな飲み物や平和に寄与した有名人、将来の夢などについて、やり取りしたり、水分の摂り方についてまとめて発表したりする。	関係代名詞を用いて、好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えている。	
2月1 週目～ 3週目	現在完了形、受動態、分詞、関係代名詞の確認と復習	6	・現在完了、受動態、分詞、関係代名詞、仮定法を理解する。 ・質問する、理由を述べる、説明する、描写する。	メールの内容やお気に入りの写真についてまとめて発表したり、「どこでもドアがもしあったら」というテーマでやり取りしたりする。		
指導時間数の計		70				